

木葉小便り

令和4年7月20日(水)発行

文責 校長 吉野 新吾



田植え後の町の風景

みなさんのおかげです

新任の校長として、「そこに愛はあるか？」の合い言葉でスタートして4か月が過ぎました。コロナ感染症の波、台風接近、大雨警報から諸行事まで、判断に迷うこともありました。しかし、木葉小学校の職員やPTA役員を中心とした保護者のみなさん、そして地域に支えられ、無事令和4年度の夏休みを迎えることができそうです。

今日も、教室から子供たちの元気な声が、職員室から先生方の笑い声が聞こえてくることをうれしく感じています。充実した日々感謝しています。

いい学校がいい地域を作り、いい地域がいい学校を作る



〈目指す児童像〉
よく見て
よく聞いて
よく話す
木葉っ子

学校評議委員



角田 迪子 評議員



緒方 マリ子 評議員



碓 栄子 評議員

6月30日(木)に、角田 迪子様、緒方 マリ子様、碓 栄子様に来校していただき、本年度の第1回学校評議委員会を開きました。

授業や休み時間の様子を参観後、学校の概要説明を聞いていただき、協議を行いました。

「全体的に落ち着いた学習ができていた」「それぞれの先生の意欲が見えた」「学校経営の方向性がはっきりとしている」等評価していただき、更に頑張っているという気持ちになりました。



学校の概要説明

地域の名人さん

6月1日にさつま芋の苗植え(1~4年生)、21日に田植え(5、6年生)を行いました。芋の苗植えには、からいも名人、山口の 大城戸 廣澄さん、田植えには、米作り名人、保護者の 小山 猛史さんにお世話になりました。学校畑のさつまいも、学校田の稲苗が日々成長をみせています。子供たちは「収穫が楽しみです。」とお礼の言葉を伝えました。収穫までには、日々の管理が大切であることにも気付いてほしいと思っています。

子供たちを“お客さん”にしない教育活動も意識していきたいと考えています。



大城戸 名人



小山 名人

たくさんの方々に支えられて学校が成り立っていることを改めて感じているところです。

